

● 授業実践力開発コース 科目配当（授業時間割）イメージ

		共通科目	コース科目	コース連携科目	実習科目	◎他コースの院生も受講可、【必】必修科目、《奇数》奇数年度開講、《偶数》偶数年度開講		
		月	火	水	木	金	土	
1 年 次	春 学 期	1限	【必】教育課程編成の理論と実践	◎《奇数》算数・数学科教材開発研究「関数」 ◎《偶数》数学の実験を活かした数学教育 ◎音楽科教材開発研究「表現」	【必】学校教育におけるデータサイエンス	◎理科の発展的理解と指導法		
		2限		【必】現代社会の課題と教員役割	【必】実践入門実習 ※春集中 【必】授業実践基本実習Ⅰ ※通年集中 【必】授業実践基本実習Ⅱ ※通年集中 学校支援実習Ⅰ ※春集中	◎初等芸術教育の理論と実践 ◎社会科・地理歴史科教材開発研究 ◎言語教育実践と教材開発研究	◎初等生活科・家庭科教育の理論と実践 ◎古典教育と教材開発研究	
		3限	◎音楽科教材開発研究「鑑賞」	【必】生徒指導・教育相談の理論と実践		◎初等理科教育の理論と実践 ◎英米文学と英語科教材開発への応用	◎技術科教育教材開発研究	
		4限	【必】教師のキャリア発達と教育実践	【必】授業実践の探究と教育課程				
		5限	【必】教育実践課題解決研究Ⅰ（授業実践）	◎美術科教材開発研究「造形表現」				
	集中科目：教育方法の開発と実践研究							
秋 学 期	1限	【必】確かな学力を伸ばす指導と評価	◎《奇数》算数・数学科教材開発研究「数と形」 ◎《偶数》数学の歴史を活かした数学教育 ◎初等社会科教育の理論と実践 ◎初等体育科教育の理論と実践	【必】授業実践基本実習Ⅰ ※通年集中 【必】授業実践基本実習Ⅱ ※通年集中 学校支援実習Ⅱ・Ⅲ ※秋集中	【必】学びの基礎となる学級経営の探究 【必】学校経営の理論と実践			
	2限	◎初等言語教育の理論と実践	【必】メディア活用実践研究 ◎滋養の教育課題と指導方法		◎社会科・公民科教材開発研究			
	3限		◎家庭科教育教材開発研究		【必】ダイバーシティ教育の理論と実践			
	4限	【必】プログラミング教育の実践と教材開発				◎言語学理論と英語科教材開発への応用		
	5限	【必】教育実践課題解決研究Ⅱ	◎美術科教材開発研究「美術鑑賞」					
◎体力科学実践研究、◎健康科学実践研究、《奇数》海外連携校実習Ⅰ、《偶数》海外連携校実習Ⅱ								

		月	火	水	木	金	土
2 年次	春 学 期	1限	○《奇数》算数・数学科教材開発研究「関数」 ○《偶数》数学の実験を活かした数学教育	【必】授業実践基本実習Ⅲ ※春集中 学校支援実習Ⅳ ※春集中	特別支援教育の臨床的探究	◎理科観察実験研究「生命・地球」（一部集中）	【必】教育実践課題解決研究Ⅲ（授業実践）
		2限					
		3限 スペシャルニーズ教育の理論と実践					
		4限 教育法規の理論と実践					
		5限					
	秋 学 期	1限	○《奇数》算数・数学科教材開発研究「数と形」 ○《偶数》数学の歴史を活かした数学教育	【必】授業実践発展実習 ※秋集中 学校支援実習Ⅴ・Ⅵ ※秋集中	幼年教育の理論と実践 学校と地域の連携協働に関する実践的研究	◎理科観察実験研究「物質・エネルギー」（一部集中）	【必】教育実践課題解決研究Ⅳ（授業実践）
		2限					
		3限 教育・保育の方法と省察					
		4限					
		5限 子どもの心の臨床心理学的理解と支援					
集中科目：《奇数》海外連携校実習Ⅰ、《偶数》海外連携校実習Ⅱ							
【備記号の意味】 【必】 必修科目 《奇数》 奇数年度開講 《偶数》 偶数年度開講							

【順記号の意味】【必】必修科目 《奇数》奇数年度開講 《偶数》偶数年度開講

● ダイバーシティ教育力開発コース 科目配当（授業時間割）イメージ

		共通科目	コース科目	コース連携科目	実習科目	◎他コースの院生も受講可、【必】必修科目、《奇数》奇数年度開講、《偶数》偶数年度開講		
		月	火	水	木	金	土	
1 年次	春 学 期	1 限	【必】教育課程編成の理論と実践		【必】学校教育におけるデータサイエンス	【必】ダイバーシティ教育基本実習		
		2 限		【必】現代社会の課題と教員役割	【必】ダイバーシティ教育基本実習 ※春集中	【必】ダイバーシティ教育基本実習 ※春集中		
		3 限	◎【必】スペシャルニーズ教育の理論と実践	【必】生徒指導・教育相談の理論と実践	【必】特別支援実習 ※春集中 【必】フィールドワーク実習 ※通年集中	◎特別支援教育の臨床的探究	【必】特別支援実習 ※春集中 【必】フィールドワーク実習 ※通年集中	
		4 限		【必】授業実践の探究と教育課程				
		5 限	【必】教育実践課題解決研究 AⅠ（ダイバーシティ） BⅠ（ダイバーシティ）					
	集中科目：《奇数》特別支援教育授業研究、《奇数》障害児の病理と教育支援、《奇数》障害児の心理と学校教育、《偶数》障害児の心理と子ども支援、《偶数》障害児の発達診断・発達相談実習、《偶数》特別支援教育の教育方法学的探究						集中科目：教育方法の開発と実践研究	
	秋 学 期	1 限	【必】確かな学力を伸ばす指導と評価			【必】学びの基礎となる学級経営の探究 【必】学校経営の理論と実践		
		2 限		【必】メディア活用実践研究	【必】フィールドワーク実習 ※通年集中	◎幼年教育の理論と実践	【必】フィールドワーク実習 ※通年集中	
		3 限	◎教育・保育の方法と省察	外国人児童生徒教育の理論と実践		【必】ダイバーシティ教育の理論と実践		
		4 限		【必】心理的アセスメントと子ども支援				
5 限		【必】教育実践課題解決研究 AⅡ（ダイバーシティ） BⅡ（ダイバーシティ）	◎【必】子どもの心の臨床心理学的理解と支援					
集中科目：《奇数》多様な教育的ニーズの理解と協働的な対応、《偶数》障害児の病理と健康支援、《偶数》特別支援教育の現代的実践と課題						集中科目：《奇数》海外連携校実習Ⅰ 《偶数》海外連携校実習Ⅱ		

		月	火	水	木	金	土
春学期	1限		メンタリングと校内研修				【必】教育実践課題解決研究 AⅢ（ダイバーシティ） BⅢ（ダイバーシティ）
	2限			【必】心理アセスメント実習 ※通年集中 【必】ダイバーシティ教育発展実習 ※通年集中		【必】心理アセスメント実習 ※通年集中 【必】ダイバーシティ教育発展実習 ※通年集中	
	3限						
	4限	教育法規の理論と実践					
	5限						
	集中科目：《奇数》特別支援教育授業研究、《奇数》障害児の病理と教育支援、《奇数》障害児の心理と学校教育、《偶数》障害児の心理と子ども支援、《偶数》障害児の発達診断・発達相談演習、《偶数》特別支援教育の教育方法的探究						
2年次	秋学期	1限					
		2限		【必】心理アセスメント実習 ※通年集中 【必】ダイバーシティ教育発展実習 ※通年集中	学校と地域の連携協働に関する実践的研究	【必】心理アセスメント実習 ※通年集中 【必】ダイバーシティ教育発展実習 ※通年集中	【必】教育実践課題解決研究 AⅣ（ダイバーシティ） BⅣ（ダイバーシティ）
		3限					
		4限					
		5限					
		集中科目：《奇数》多様な教育的ニーズの理解と協働的な対応、《偶数》障害児の病理と健康支援、《偶数》特別支援教育の現代的実践と課題					

【順記号の意味】【必】必修科目 《奇数》奇数年度開講 《偶数》偶数年度開講
※ 授業実践力開発コースのコース連携科目は授業実践力開発コースの科目表で確認



滋賀大学 大学院教育学研究科

〒520-0862 滋賀県大津市平津 2 丁目 5 - 1

滋賀大学教育学部・滋賀大学大学院教育学研究科 <https://www.edu.shiga-u.ac.jp/>

高度教職実践専攻(教職大学院) <https://www.edu.shiga-u.ac.jp/kyoshoku/>

入試日程、募集要項、説明会
日程の詳細はこちら



滋賀大学教職大学院 HP
QR コード

滋賀大学 教職大学院

大学院教育学研究科 / 高度教職実践専攻

本学では、高度な専門性を備え、地域の期待に応えることのできる教員の養成を目指して、現職教員や学部新卒学生などを対象とした特色ある4つのコースを設けています。このリーフレットでは、「授業実践力開発コース」と「ダイバーシティ教育力開発コース」を紹介します。教職大学院の全体につきましてはHPや「大学院案内パンフレット」をご参照ください。

授業実践力開発コース

●コースで養成する教員像と育成する資質能力

授業実践力開発コースでは、主に学部新卒学生を対象とし、確実な授業実践力、教科指導力、学級経営力を備え、新しい学びを推進できる新任教員の養成を目指します。そのため、学部での学修を進展させ、科学的・俯瞰的な視点から授業をデザインする力、同僚や保護者等との協働力やコミュニケーション力などを育成します。

対象学生	養成する教員像	育成する資質能力
主に学部卒生	学級・教科担任として十分な教育実践力、授業実践力と学級経営力、保護者や地域と連携できるコミュニケーション力、同僚教師と協働して <u>新しい学びを推進できる能力を備えた新任教員</u>	・学部の学修を進展させたより高度な授業実践力と授業研究力 ・教科横断的な学習における授業実践力 ・教育課題を科学的及び俯瞰的に捉え直す力 ・新しい学びを同僚教師とともに推進する協働力 ・同僚、保護者、地域と連携できるコミュニケーション力 ・学び・成長し続けるための自己省察力

ダイバーシティ教育力開発コース

●コースで養成する教員像と育成する資質能力

「多様性を可能性へ」—— 多様性（ダイバーシティ）の時代に教師はどう向き合うか。誰一人取り残さない教育の可能性を創造する。

ダイバーシティ教育力開発コースでは、多様な教育的ニーズを抱える子どもの育ちを広い視野からの確に捉え、発達や心の健康を支える専門性を備えた教員の養成を目指します。そのために、特別支援教育・インクルーシブ教育の推進力、関係者・関係機関と連携しながら学校を支援できるコーディネート力、多様な教育的ニーズに応じた個別の指導計画や教育支援計画等の編成力、心理検査の知識と理解をベースとしたアセスメント力を育成します。

対象学生	養成する教員像	育成する資質能力
現職教員 学部卒生	発達上の課題や障害、心身疾患・問題、いじめ、不登校、虐待、外国人児童生徒など、多様な教育的ニーズを抱える <u>子どもの育ちを広い視野からの確に捉えて、発達や心の健康を支える専門性を備えた教員</u>	・学校園における特別支援教育、インクルーシブ教育の推進力 ・教員、保護者、学校内外の他職種専門家、専門機関との連携を推進し、チーム学校支援に貢献できるコーディネート力 ・多様な教育的ニーズとその背景要因を多面的に見取り、支援方針を立て、個別の指導計画や教育支援計画等を編成できる力 ・心理検査に関する深い知識と理解をベースにしたアセスメント力

授業実践力開発コース

特色ある授業や実習科目



教師のキャリア発達と教育実践

この授業では、教師のライフストーリー、職業的社会化論、キャリア研究といった教師の成長・発達に関わる学術的・理論的枠組に依拠して、教師がいかに自らの指導観、授業観を形成・変容させ、実践のなかから経験知を生成し、固有の教育実践を確立するにいたるかについて学びます。



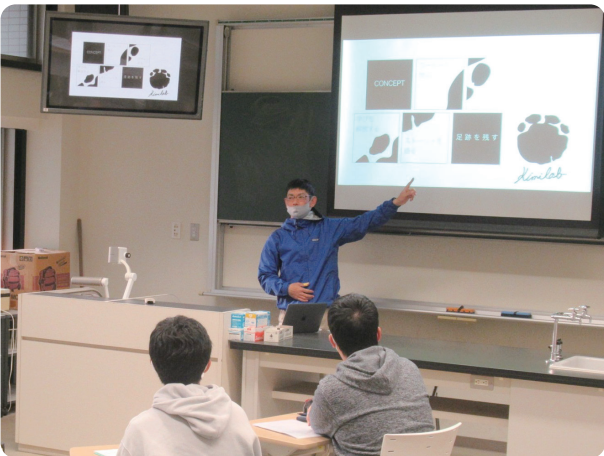
教育実践課題解決研究Ⅰ・Ⅱ

この授業では、共通科目、コース別選択科目での学びを深め、実習科目での学びと関連づけながら、各教科教育の理論と実践の往還のあり方について学びます。その上で、各自の実践研究テーマを設定し、それぞれの課題解決のプロセスやその結果を、PDCA サイクルに基づいて省察を行います。



初等芸術教育の理論と実践

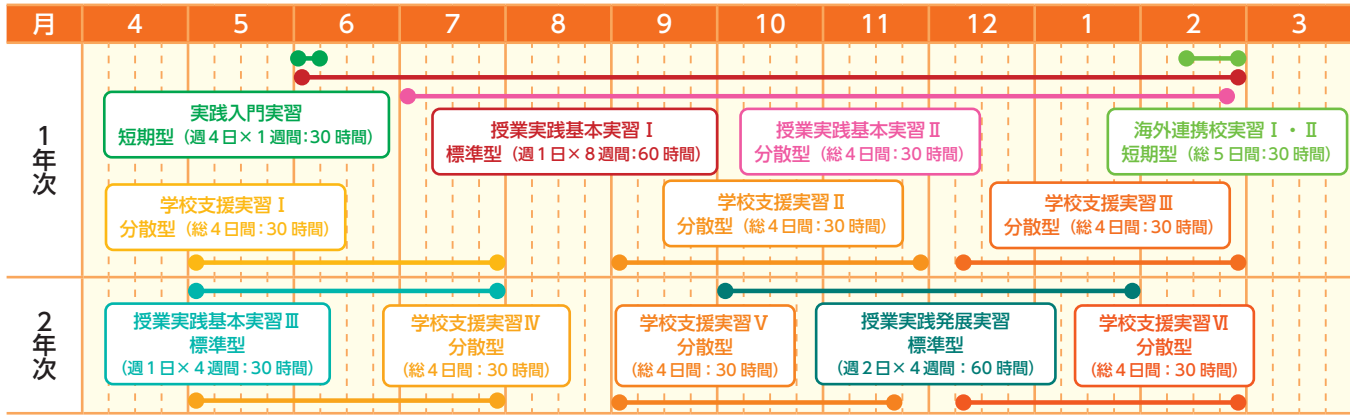
この授業では、初等教育における芸術科（音楽科、図画工作・美術科）の本質や目標および内容構成、校種間連携や教科横断的な視点から「音楽的な見方・考え方」と「造形的な見方・考え方」を動かして児童が主体的に意味や価値を創造することができる授業実践について学びます。



プログラミング教育の実践と教材開発

この授業では、プログラミング教育の実践と教材開発の手法について学びます。各教科の学びを深めると同時にプログラミング的思考を育むためにコンピュータを用いないアンプラグド・プログラミング、タブレットやPCを用いたグラフィックス・プログラミングやサウンド・プログラミングなど、幅広い題材や機材を用いたプログラミングについて学びます。

●実習科目の学習イメージ



ダイバーシティ教育力開発コース

特色ある授業や実習科目

ダイバーシティ教育基本実習

通常学級における特別なニーズをもつ子どもたちの参与観察を行い、一人ひとりの課題を理解することを学びます。

- ・大津市内幼稚園における特別な支援を要する幼児の参与観察
- ・大津市内小学校における通常クラスの児童の参与観察
- ・大津市内小学校における特別支援学級・交流学級の児童の参与観察

フィールドワーク実習

学校外の子どもの教育や生活に関連する施設を訪れ、多様な教育的ニーズをもつ子どもたちへの教育的対応を知り、学校とのつながりや連携について学びます。

- ・外国人児童生徒日本語初期指導教室
- ・少年鑑別所
- ・障害者支援施設
- ・発達障害者就労支援施設
- ・教育相談センター
- ・適応指導教室
- 等

特別支援実習

附属特別支援学校において指導案作成、教材・教具づくり、授業の実施、授業研究会への参加などを通して、特別支援学校での児童生徒の発達や障害特性に合わせた教育活動・授業づくりについて学びます。

心理アセスメント実習

附属特別支援学校の児童生徒に対する発達検査場面に同席・カンファレンスに参加し、それに基づく学習支援を考え実践します。また、附属学校園で実施されている学習・発達支援室の活動に帯同し、通常の学級における特別な支援を要する子どもへの具体的な対応や連携のあり方について学びます。



知能検査や発達検査、投影法など様々な心理的アセスメントについての実践的な学び



ディスカッションやグループワークを導入し、集団的な学びを大切にした講義



多様な教育的ニーズをもつ子ども（学びにくさを感じている子ども）たちの「わかる」を支える教材研究、授業づくり

●実習科目の学習イメージ

